

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品名および会社情報

会社名 アルプス株式会社  
住所東京都新宿区早稲田南町33  
緊急連絡先 電話番号 03-3207-0006  
FAX 番号 03-5272-0051

製品名 アイアンホワイトボード (MWB-MU)

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類：分類基準に該当しない。

本製品は「成形品」であり SDS の作成が必要な「化学製品」に該当しない。

危険性：危険性なし

有害性：木質基材に使用されている接着剤から微量のホルムアルデヒドが放散されるが、人体への影響は極めて少ない。また GHS 分類にはないが、加工等で鉄粉入りゴムシートから生じる粉塵や微粉末が肺に吸入されると、塵肺等の障害が生じる可能性がある。F☆☆☆☆に関しては、後述の「適用法令」を参照。

環境影響：知見なし。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物・成形品の区別：成形品

当該製品の一般的名称：MDF 鉄粉入りゴムシート貼り/ホワイトボードシート貼り化粧板

当該製品は、木質基材に鉄粉入りゴムシート・ホワイトボードシートを貼ったもの。また、裏面には防湿シートを貼ったもの。

#### 【ホワイトボードシートの成分情報】

物質名	含有量(%)	CAS No.	化審法 No.	PRTR 法 No.	安衛法 No.
ポリエステル	35~45	25038-59-9	7-1022	該当しない	該当しない
ポリ塩化ビニル	30~40	9002-86-2	6-66	該当しない	該当しない
フタル酸ジイソノニル	6~9	28553-12-0 68515-48-0	3-1307	該当しない	該当しない
酸化チタン	7~12	13463-67-7	1-558	該当しない	191

国連分類：分類基準に該当しない

国連番号：なし

---

#### 4. 応急処置

- 目に入った場合：切り屑等が入った場合、眼球を傷つける可能性があるので清浄な水で充分洗い流す。異常を感じるようであれば、速やかに専門医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：通常は人体に対してほとんど刺激なし。
- 吸入した場合：ホルムアルデヒドや加工によって発生するガス・粉塵により鼻、喉に刺激を感じた場合は換気を良くし、空気の新鮮な場所へ移る。
- 飲み込んだ場合：通常飲み込めないが、切り屑等を飲み込んだ場合は、吐き出させる。
- 

#### 5. 火災時の措置

- 消火方法：木材火災の対応に準ずる。火災時には、熱分解や不完全燃焼により CO、CO<sub>2</sub>等の有害ガスが発生する可能性がある為、吸入しないよう注意する。
- 火元への燃焼源を断ち、風上から大量の水または消火剤を使用して消火する。
- 消火作業の際には、適切な空気呼吸器、保護服、保護手袋、顔面保護具等を着用する。
- 消火剤：大量の水、噴霧水、フォーム（泡）、砂等。
- 

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に関する注意事項：特に該当なし
- 環境に対する注意事項：密閉容器に回収し、産業廃棄物として処理する。  
粉末・粉塵等は後述の廃棄上の注意に従い廃棄する。
- 除去方法：固体のため特別な措置は不要。こぼれた場合は容器に回収する。ただし、加工等により発生した微粉末は吸入しないよう十分な換気を行い、保護具の着用の上除去を行うこと。
- 

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：火気、熱源より遠ざける。  
通常の手扱いは危険はないが、保護手袋（耐切傷）、保護眼鏡の着用が好ましい。
- 保管：火気、熱源より遠ざける。  
通気性、換気性の良い屋内の平坦な所に波打ちしないよう平積み保管する。  
直射日光の当たる場所や多湿の場所は避ける。
- 

#### 8. 暴露防止措置

- 管理濃度（ホルムアルデヒド）：未定
- 許容濃度（ホルムアルデヒド）：日本産業衛生学会（1994年度版）勧告値 0.5ppm  
ACGIH（1994～1995年度版）勧告値 0.3ppm（天井値）  
厚生労働省 2002年室内濃度指針値 0.08ppm
- 許容濃度（鉄粉）：PEL(Permissible Exposure Limit,許容暴露濃度)(OSHA) 5mg/m<sup>3</sup>
- 設備対策：なし
- 保護具：長袖・長ズボン・保護手袋（耐切傷）、保護眼鏡の着用が好ましい。
- 

#### 9. 物理／化学的性質

- 外観等：薄板状固体
- 臭気：微臭
- 沸点、蒸気圧、揮発性、融点、初留点：該当せず
- 溶解度 水：不溶

---

**10. 安定性及び反応性**

安定性・反応性：通常のご扱いにおいては安定である。

可燃性：あり。燃焼の際、鉄粉入りゴムシート部分より塩酸ガスが発生することがある。

発火性：400℃以上の温度で鉄粉入りゴムシート部分より発火することがある。

混触危険物質：酸や揮発性の高い溶剤等

危険有害な分解生成物：一酸化炭素、塩化水素、有機酸、アルデヒドやアルコール等、炭化水素酸化物を含むガスや蒸気が発生する。

引火点、酸化性、自己反応性、爆発性、粉塵爆発性：該当せず

---

**11. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）**

皮膚腐食性、刺激性（皮膚、眼）、感作性：知見なし

急性毒性、慢性毒性、がん原性、変異原性、生殖毒性、催奇形性：知見なし

---

**12. 環境影響情報** 分解性、蓄積性、魚毒性：知見なし**13. 廃棄上の注意**

法律（廃棄法）に従い、都道府県の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

---

**14. 輸送上の注意**

危険有害性のない製品に分類され安全上問題はないが、直射日光にさらしたり水に濡らしたりしないようにする。

また、着磁品を航空輸送する場合は、IATA(国際航空運送協会)危険物規則に従い、取扱うこと。

---

**15. 適用法令**

(1) 廃棄物の処理及び清掃等に関する法律(廃掃法)

(2) 製剤中成分：鉄粉が TSCA に適用。TSCA(有害物質規制法；Toxic Substances Control Act)

(3) 製剤中成分：鉄粉は SARA Title III の下での要件を報告する必要はない。

SARA Title III (スーパーファンド修正再承認法；Superfund Amendments and Reauthorization Act)

(4) 建築基準法：F☆☆☆☆…内装仕上げの使用可能面積の制限無し。

(5) その他、お使いの地域における地方条例等の法規制等にも注意が必要。

---

**16. その他の情報**

「記載内容について」

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については情報提供であり、保証するものではありません。取扱いには注意して下さい。なお、注意事項については通常のご扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。